

Eine *Alpensinfonie*

頂点へ、
駆け上がれ！

欧州で注目を浴びる新鋭マイスターが登場。
アルプスの日の出から日没までを描いた
壮大な交響曲を指揮！

ウィーンやベルリンで旋風を巻き起こす新鋭
指揮 **コルネリウス・マイスター**

Conductor CORNELIUS MEISTER

コンサートマスター(ゲスト) 荻原尚子
Guest Concertmaster NAOKO OGIHARA

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第1番 ハ長調 作品15
BEETHOVEN: Piano Concerto No. 1 in C major, op. 15

R.シュトラウス：アルプス交響曲 作品64
R. STRAUSS: Eine Alpensinfonie, op. 64

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団 事業提携：東京芸術劇場

人気ピアニストのアリスが、
ベートーヴェンで華麗なソロを披露！

新時代をリードする人気ピアニスト
ピアノ **アリス＝紗良・オット**

Piano ALICE SARA OTT

★ 読売日本交響楽団 第10回 読響メトロポリタン・シリーズ

2014年9月3日(水)19時開演

東京芸術劇場コンサートホール

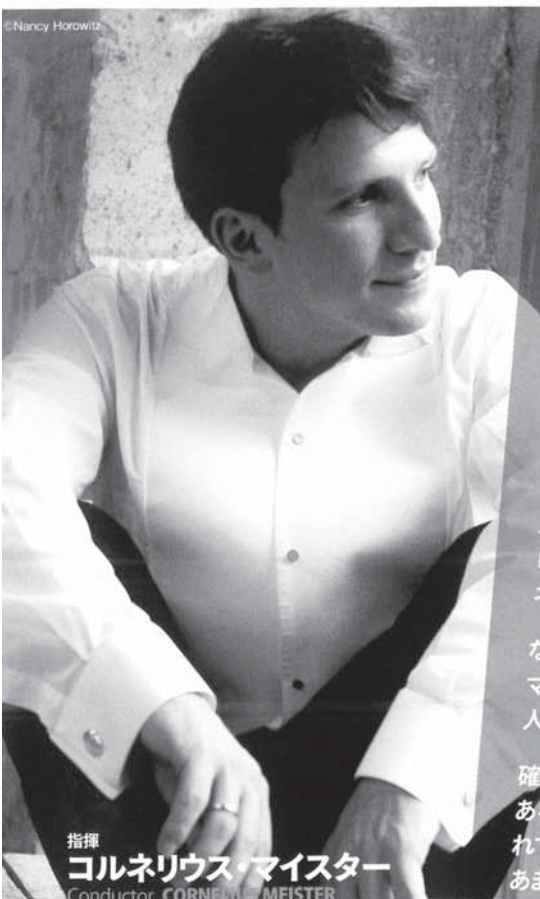
S ¥7,200 / A ¥5,100 / B ¥4,100 / C SOLD OUT

The 10th Yomiuryo Metropolitan Series
Wednesday, 3rd September 19:00 / Tokyo Metropolitan Theatre

お申し込み・お問い合わせ
読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時-18時 年中無休)
プレイガイド：チケットぴあ、イープラスほか <http://yomikyoku.jp/>

読 響
Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

新しい風を運ぶ、 若きマエストロ



指揮
コルネリウス・マイスター
Conductor CORNELIUS MEISTER

鈴木淳史(音楽評論家)

今、もっともウィーンで注目を浴びている若手指揮者が読響にデビューする。

ウィーンには代表的なオーケストラが三つある。ウィーン・フィルとウィーン交響楽団は、ウィーンの伝統や保守性を象徴する存在とわかっていい。そして、この都市でもっともフレキシブルで、新しい試みを担うオーケストラが、ウィーン放送交響楽団だ。ミニマル音楽を得意とするデニス・ラッセル・ディヴィスや、ピリオド・アプローチの取り入れ方が巧妙だったベルトラン・ド・ビリーなどを首席指揮者に据え、ほかのウィーンのオーケストラには真似できない刺激に満ちたプログラムを組む。

2010/2011シーズン、この進取の気性に富むオーケストラがド・ビリーの後任として白羽の矢を立てたのが、当時30歳のコルネリウス・マイスターだ。

なんといっても、この指揮者の名前がすごい。言うまでもなく、マイスターとはイタリア語では、マエストロ。若くして、すでに名人や達人、職人の領域に達しているというのか。

確かに、その音楽は巨匠風ともいえる。ロマンティックなうねり。あるときは、ケレン味たっぷりのテンポ切り替え。もちろん、それでもまだ彼の音楽は摘みだての果実のように初々しい。ありあまる表現意欲を満載したまま、颯爽と音楽を走らせる。

その一方で、職人的な気質もある。なんといっても、その響きの柔らかさ。ピリオド・アプローチが必須になりつつある現代のオーケストラ音楽において、古風とわかっていい、ふんわりと耳を撫でるサウンド。こうした音作りを実現させるため、マイスターは楽員たちに合理的に説明、理解を求めるのだという。

今回は、ベートーヴェンの協奏曲の独奏者に、アリス＝紗良・オットを迎える。彼女も、これまでにない新鮮な解釈で聴かせる、“不思議ちゃん”ピアニストだ。若き両者によるミステリアスなコンビネーションが期待できること、間違いない。

そして、アルプス交響曲。マイスターと読響は、柔らかい響きのなかに、様々な仕掛けを用意しつつ、スポーティな足取りで頂に達してくれることだろう。

新しさのなかに回帰する伝統。若き巨匠にして職人のマイスター。その名前は、伊達じゃない。



ピアノ
アリス＝紗良・オット
Piano ALICE SARA OTT

ドイツ人と日本人の両親をもつ今年で26歳のピアニスト。近年、世界各地の主要コンサート・ホールで演奏し、批評家から絶賛を博しており、今日最も刺激的な音楽家の一人として確固たる地位を築いている。

これまでに、マゼール、アシュケナージ、ヘンゲルブロック、ジョン・ミンフン、オラモ、パーヴォ・ヤルヴィ、ハーディングらの指揮で、ミュンヘン・フィル、ロンドン響、フランス放送フィル、フランクフルト放送(hr)響、フィルハーモニア管、サンフランシスコ響、デンマーク国立響、チェコ・フィルなど世界の一流オーケストラと共演。今年11月にはシカゴ響にデビューする。

また、リサイタルでは、ウィーン・コンツェルトハウスなどヨーロッパ各地をはじめ、アメリカ、日本で数多くリサイタルを開催し、いずれも高い評価を得ている。

2008年よりドイツ・グラモフォンと専属契約を結び、数々のCDをリリース。ショパンのワルツ全曲のCDは、ドイツとアメリカのクラシックiTunesチャートで1位となった。

世界の注目を集めるドイツ期待の若手指揮者。

1980年ドイツのハノーファー生まれ。2005年に24歳で最年少の「音楽監督」として、ハイテルベルク市立劇場の音楽監督に就任し、2012年まで7年間務めた。2010年からウィーン放送響の首席指揮者兼芸術監督を務めている。ムジークフェラインなどでの演奏会に加え、ツアーやCD録音などを活発に展開している。

これまでに、アムステルダム・ロイヤル・コンセルトヘボウ管、バイエルン放送響、パリ管、ベルリン放送響、北ドイツ放送響、バーミンガム市響、BBCフィル、ホルティモア響、チューリヒ・トーンハレ管、スウェーデン放送響、デンマーク国立響、ローマ・サンタ・チェチーリア管などの著名なオーケストラと共演。

オペラにおいても、21歳でハンブルク国立歌劇場にデビューを果たして以来、ウィーン国立歌劇場、バイエルン国立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、ドレスデン国立歌劇場、チューリッヒ歌劇場、サンフランシスコ・オペラなどで指揮をしている。

読売日本交響楽団 第10回 読響メトロポリタン・シリーズ

2014年 9月3日(水) 19時開演

東京芸術劇場コンサートホール

S ¥7,200 / A ¥5,100 / B ¥4,100 / C SOLD OUT

東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111

●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分(※駅地下通路2b出口と直結しています)

【観客注意】東京芸術劇場には一時託児施設があります。芸術キッズルーム muse(ミュージズ) 03-3981-7003

【学生券】学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

【団体割引】読響チケットセンターにて同一公演の1回券を10枚以上まとめてお求めになった方に団体割引をいたします。

※都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。あらかじめご了承ください。※未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

※10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

※座席を選んでチケットをご購入いただけます。(一部、携帯電話、スマートフォンを除く)

※チケットを郵送ご希望の場合、送料は無料です。

プレイガイド: チケットぴあ 0570-02-9999、イープラス <http://eplus.jp/>、東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296